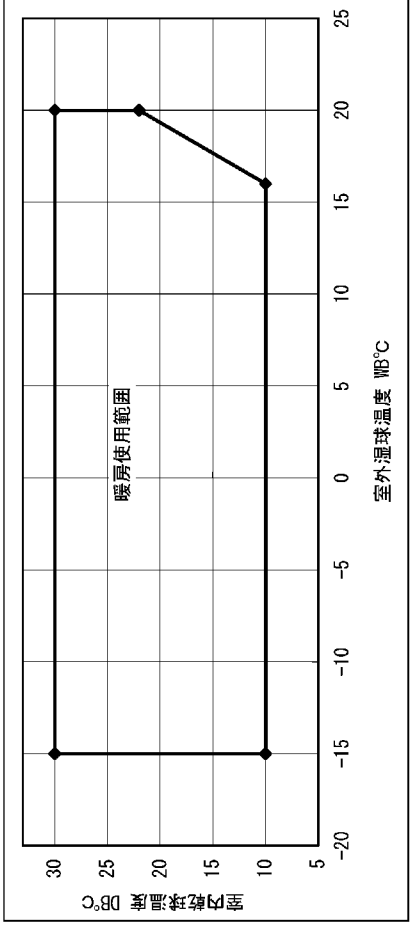
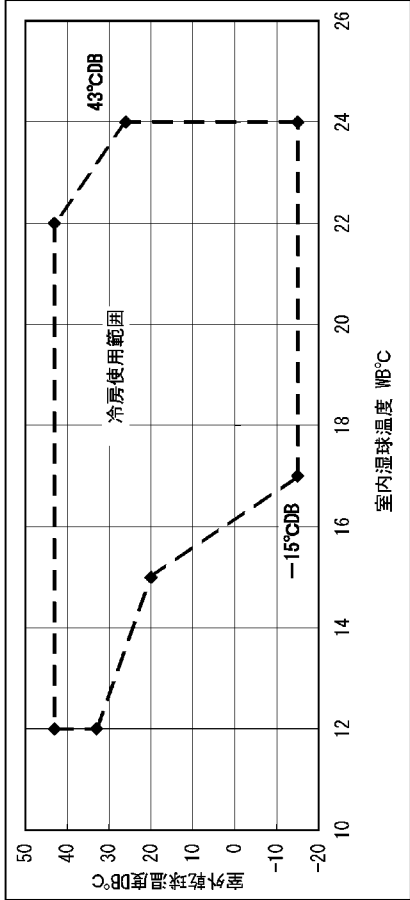


適用地域	ヒートポンプ機（暖房運転を考慮して）日最低気温が12～3月の冬期4ヶ月間の平均値で0℃DB以上であって降雪の多くない地域。	
設置場所	降雪地域では、防雪フード(フアード)を組付け使用してください。 室内機は、間仕切りの無い同一の部屋に設置し、空調負荷が同一となる案件で使用してください。 外形図に据付スペースに関する制限を記載しております。 室内ユニットの据付は、床面から2.5m以上としてください。＜FDT, FDR の場合＞	
室内ユニットの雰囲気（天井裏）温度・湿度	露点温度 2.8℃以下・相対湿度 80%以下	
圧縮機の 発停頻度	1サイクル時間	7分以上（停止～停止 / 始動～始動）
電源電圧	停止時間	3分以上
	電圧変動	定格電圧 200V±10%以内
	始動時の電圧低下	定格電圧 200Vの15%
	相間アンバランス	3%以内



次のような場所への設置は行わないでください。

- 1) 可燃性ガスの漏れる恐れがある場所。
- 2) 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等、機器に影響する物質の発生・滞留する所。
- 3) 調理場や機械工場などの、油の飛沫や油煙・蒸気の立ち込める場所。
- 4) 電磁波・高周波の発生する機器の近く。
- 5) 海岸地帯の潮風が直接当たる場所。
- 6) 煙突の煙がかかる場所。
- 7) カーボン繊維や金属分・パウダー等が浮遊する場所。
- 8) 化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所。

- 9) 車両・船舶等移動するものへの設置。
- 10) 積雪の多い所
- 11) 標高1000m以上の場所。
- 12) 洗たく室等 水が掛かる場所。
室内機は水の浸入に対する保護はしておりません。
- 13) ワイヤレス仕様が使われる場合、
受信部に影響のある光線が飛び交う所。

- 14) 同じ室外機に接続されている室内機は、間仕切りのない同一の部屋に設置し、空調負荷が同一となる条件で使用してください。
空調負荷が同一でない場合は、能力不足や水漏れの可能性があります。

形 式		マルチ V	
発行音 名 称	使用範囲		
小林	SPECIFICATION		
図 番	訂 符	葉 別	
08.07.28.	PCA001Z555	△	1/3

配管制限			Wツイン機	
制限項目	室外ユニット容量	制限長さ	シングル機	ツイン機
片道配管長	VP403・VP453・VP503・VP563	40m以下	L	L+L1+L2
	VP633	70m以下		
	XP403・XP453・XP503・XP563・XP633	40m以下		
	VP803・VP1123	70m以下		
	VP1403	100m以下		
	XP803・XP1123・XP1403	50m以下		
	VP1603	100m以下		
	XP1603	50m以下		
	VP2243	φ9.52 液配管 60m以下		
	XP2243	φ12.7 液配管 120m以下		
主管長	VP2243	φ9.52 液配管 60m以下	L	L+L1 L+L2
	XP2243	φ12.7 液配管 40m以下		
	VP2803	φ9.52 液配管 40m以下		
	XP2803	φ12.7 液配管 70m以下		
	VP2803	80m以下		
	XP2803	70m以下		
	VP803・XP803	20m以下		
	XP1123～XP1603・VP1123～VP1603	30m以下		
	XP2243・XP2803	40m以下		
	XP803～XP1603・VP803～VP1603	10m以内		
第1分岐～室内機間の片道長さ	XP2243・XP2803・VP2243・VP2803	15m以下	H	h
	室内・室外ユニット間の高さの差	30m以下		
第2分岐～室内機間の総配管長	室内・室外ユニット間の高さの差	15m以下	H	h
	室内ユニット間の高さの差	0.5m以内		

1) 立ち上がり配管は主管としてください。
また、分岐管は室内ユニットの近辺に水平分岐するように設置してください。
2) 配管長が3mより短い場合は工場出荷チャージ量から-1kgの調整を行ってください。
3) 配管は、使用する雰囲気に対応した断熱を実施してください。
相対湿度が70%を超える天井内等では、厚さ20mm以上の断熱が必要になります。
4) 室内・室外ユニット付属の据付説明書に施工上の確認事項を記載しております
据付される前に据付説明書をよくお読みいただき、指示通りに施工してください。
5) VP1603、VP2403は同機種同容量の場合のみご使用いただけます。異機種同容量の場合は使用できません。

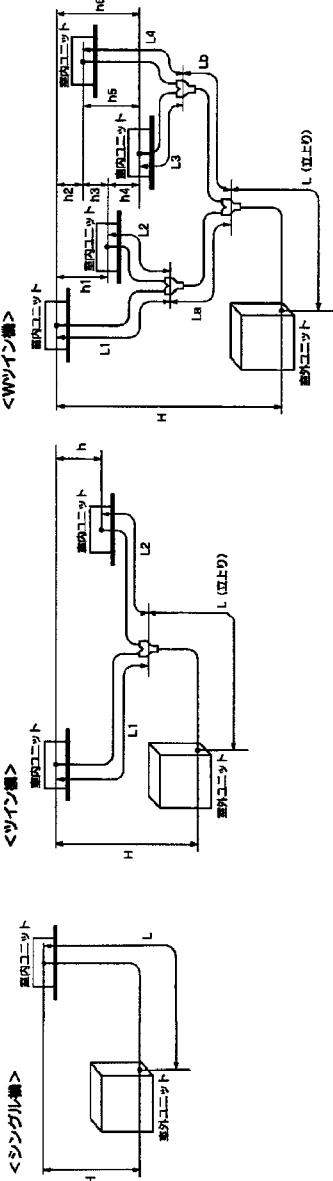
室外ユニット容量	冷媒調整
VP40～56、XP40～63	-0.5kg
VP63～280、XP80～280	-1kg

<シングル機>

<ツイン機>

<Wツイン機>

発行者	名称	使用範囲
小林		SPECIFICATION
図番	訂符	業別
PCA001Z555	A	2/3



配管制限

＜同機種同容量、異機種同容量 XP1603・VP1603・XP2243・VP2243の場合＞

制限項目		室外ユニット容量	制限長さ	トリプル機	
制限項目		室外ユニット容量	制限長さ	図A 第1分岐管～各室内機までの配管長さ	図B 第1分岐管～各室内機までの配管長さ
片道配管長	XP1603		50m以下	L + L1 + L2 + L3	L + La + L1 + L2 + L3 ※1
	VP1603		100m以下		
	XP2243	液配管 φ9.52 φ12.7	40m以下 70m以下		
	VP2243	液配管 φ9.52 φ12.7	60m以下 120m以下		
主管長	XP1603		50m以下	L	L + L1 ※1
	VP1603		100m以下		
	XP2243	液配管 φ9.52 φ12.7	40m以下 70m以下		
	VP2243	液配管 φ9.52 φ12.7	60m以下 80m以下		
第1～第2分岐間の片道長さ	XP1603・XP2243・VP1603・VP2243		5m以下	L1, L2, L3	L1 ※1
	XP1603・VP1603・XP2243		30m以下		
	XP1603・VP1603・XP2243		40m以下		
	XP2243		27m以下 37m以下		
第1分岐～室内機間 接続する室内機間の片道長さ	XP1603・XP2243	注(1)	3m未満	L1 + L2, L1 + L3, L2 + L3	La + L2, La + L3 ※1
	XP1603・XP2243	注(2)	3m以上10m以下		
第2分岐～室内機間の片道長さの差	室内・室外ユニット間 の長さの差		10m以下	H	L1 - (La + L2), L1 - (La + L3) ※1
	室内・室外ユニット間 の長さの差		30m以下		
室内ユニット間の長さの差	室内・室外ユニット間 の長さの差		15m以下	h1, h2, h3	L2 + L3
	室内・室外ユニット間 の長さの差		0.5m以内		

＜同機種異容量、異機種異容量 XP2803の場合＞

制限項目		室外ユニット容量	制限長さ	トリプル機	
制限項目		室外ユニット容量	制限長さ	図A 第1分岐管～各室内機までの配管長さ	図B 第1分岐管～各室内機までの配管長さ
片道配管長	XP2803		70m以下	L + L1, L + La + L2, L + La + L3 ※2	第1分岐管～各室内機までの配管長さ 3m未満
	XP2803		70m以下		
	XP2803		5m以下		
	XP2803		30m以下		
第1分岐～室内機間 の片道長さ	XP2803		30m以下	L1, La + L2, La + L3 ※2	使用不可
	XP2803		30m以下		
	XP2803		30m以下		
	XP2803		30m以下		
第1分岐～室内機間 の片道長さの差	室内・室外ユニット間	注(3)	3m未満	L1 - (La + L2) , L1 - (La + L3) , L2 - L3 ※2	使用不可
	室内・室外ユニット間		30m以下		
室内ユニット間の長さの差	室内・室外ユニット間 の長さの差		15m以下	H	h1, h2, h3
	室内・室外ユニット間 の長さの差		0.5m以内		

注(1) 下記、分岐管を使用してください。

XP160, VP160⇒ DIS-TA1

XP224, VP240⇒ DIS-TB1

注(2) 下記、分岐管を使用してください。

XP160, VP160⇒ DIS-WA1 x2セット

XP224, VP224⇒ 第1分岐：DIS-WB1, 第2分岐：DIS-WA1

注(3) 下記、分岐管を使用してください。

XP280⇒ 第1分岐：DIS-WB1, 第2分岐：DIS-WA1

1) 立ち上がり配管は主管としてください。

また、分岐管は室内ユニットの近辺に水平分岐するように設置してください。

2) 配管長が3mより短い場合は工場出荷チャージ量から-1kgの調整を行ってください。

3) 配管は、使用する露盤気に対応した断熱を実施してください。

相対湿度が70%を超える天井内等では、厚さ20mm以上の断熱が必要になります。

4) 室内・室外ユニット付属の据付説明書に施工上の確認事項を記載しております。

据付される前に据付説明書をよくお読みいただき、指示通りに施工してください。

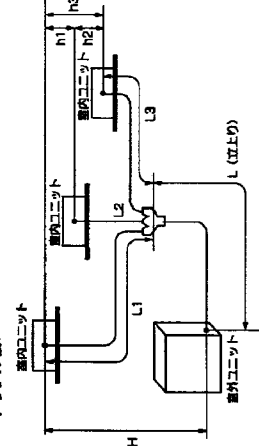
5) VP1603, VP2403は同機種同容量の場合のみご使用いただけます。異機種同容量の場合は使用できません。

※1 L1には、片道長さが最大となる室内ユニットを接続してください。

(La + L2)と(La + L3)は、L1に対する片道長さの差が3m以上の10m以下の制限長さ内にしてください。

※2 L1には、機種容量が最大となる室内ユニットを接続してください。

図A <トリプル機>



図B <トリプル機>

